

第6学年 家庭科学習指導本時案

授業者 静川 郁子

日時：平成30年10月27日（土）第1校時（9:30～10:15）

対象：第6学年A組 29人

場所：6年A組教室

本時の主張点	汚れの性質・材に合わせた掃除ができれば、簡単な作業できれいになることや、物を傷めずに長く使えたることを理解した子どもたちは、状況に応じた掃除方法を探求し、実践していこう。 子どもたちが、持続可能な社会の担い手になっていく学びにしたい。
--------	--

1. 本時について

～なぜ汚れるのか、なぜ掃除が必要なのか～

子どもたちは、前時で家庭科室の汚れを調べ、なぜ掃除が必要なのかを考えている。本時では、それらの汚れはどこからくるのか、また、それらの汚れと自分たちはどんな関係にあるのかを考える。

汚れの1つであるホコリは、常に宙を舞っており、床や家具などに降り積もったホコリは、髪の毛やフケ、食べこぼしなどと絡まる。それらを放置しておくとなりにダニやカビの温床となり、身体に影響を及ぼす。これらのことを知った子どもたちは、今までの掃除方法を振り返り、これからの掃除の在り方を考え始めるだろう。

2. 本時における探究的な学びと省察性の働き

子どもたちが、体験を通して「汚れは、時間をおかなければ簡単な掃除できれいにする事ができる」を理解すれば、毎日の掃除の必然性が分かり、今までの掃除方法を振り返り、これからの掃除の在り方を考え始めるだろう。

そこで、汚れの種類と程度によって、掃除方法・掃除道具を選択する場面を対話的体験的な活動にする。小グループで「この汚れは、乾いた雑巾でそっとふき取るだけでいいかな。」「このホコリは、もう動かなくなっているけど、水で濡らした雑巾で取れるかな」と、判断の根拠と行動を繋げて話し、実践後には、掃除前と掃除後を比べたり、掃除方法で比べたりしながら探究力を支える省察性を育みたい。

3. 探究的な学びを支える授業のしかけ

「掃除は、なぜ必要なのか」を単元を貫く課題とした。なぜなら、本実践での中心的な概念は、「汚れと時間」にあるからだ。子どもたちが、接地面に軽くのっている状態の汚れにある時に掃除すれば、掃くなどの簡単な作業で汚れを取ることができる。汚れを放置すれば、する程、汚れは落ちにくくなり、かつ、その汚れの中にカビやダニが生息してしまう。これらの事実を1つ1つ繋げ、実感を伴って理解できるように提示する順番が1つのしかけである。

その上で、本時の課題を「ホコリはどう掃除すればいいのか」とした。汚れについての知識を深める

中で、子どもたちが、分かったことを関連付け、汚れの性質によって掃除方法を探究し、それらを学校や家庭で活かしていけるようにする。

4. 育みたい資質・能力

探究力	省察性
<ul style="list-style-type: none"> ホコリの掃除の仕方を考えることができる (思考力・判断力) 	<ul style="list-style-type: none"> ホコリの取り方を予想し、選択した方法の良さや改善点、考えの根拠を捉えることができる (思考力・判断力を支える省察性)

5. 本時の目標

ホコリの性質が分かり、掃除の仕方が分かる。

6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	・留意点 ☆評価
<p>1. 問いをもつ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ホコリの掃除の仕方を考えよう</div> <p>予想 <u>このホコリ、どう取る？</u></p> <p>扇風機についてのホコリを取る方法を小グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吸い取ればいい ○ ホコリもこびり付いているのもあるよ <p>2. 自ら問いに働きかけ、追究する</p> <p>実験！ <u>このホコリ、どう取る？</u></p> <p>小グループで試しながら、扇風機に付いたホコリを取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雑巾を濡らして拭くかな ○ はたきじゃ、無理だな ○ 扇風機にホコリがくっついてしまっている。 <p>交流する ホコリを取る活動の中で気付いたこと・気になったところを交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 扇風機からはホコリは取れているけど、机の上に落ちた。 ○ 掃いたら、筋でホコリは取れたけど、空気中にホコリが舞った <p>3. 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プラスチックの扇風機だから雑巾を少し湿らせて拭いてもいいな。 ○ ホコリが固まってしまう前に掃除をこまめにすれば楽ですむ 	<ul style="list-style-type: none"> 「汚れの程度に分けて考える」という思考が子どもから出た場合は、立ち止まり全体の課題にする。 <p>☆ホコリの性質が分かり、掃除の仕方を考えることができる 思</p> <ul style="list-style-type: none"> 次時は、どのような学習をしたいかを考え、見通しを持てるようにする。